

※ 当提案内容は募集要項に基づいたものであり、事業実施については協議の上、変更となる可能性があります。

提案概要書

事業コンセプト:

「畏敬の夜・神秘の朝、奈良らしさを世界へ」

漆黒の夜に灯る火のゆらぎ、若草山から昇る朝日、この場所でこそ感じられる奈良の歴史と自然を、最高級インターナショナルホテルブランドと日本を代表する建築家と共に表現し、奈良らしさ、奈良そのものを世界へ発信します。

奈良×最高級インターナショナルホテルブランド×隈研吾

【施設整備運営の7つの要素】

- ① 最高級クラスのインターナショナルホテルブランドの誘致
- ② 隈研吾氏による、奈良の歴史ある風景を現代に昇華した建築デザイン
- ③ 奈良公園全体を活かした多用途の宿泊施設機能
- ④ 生物多様性に配慮した植栽エリアの造成
- ⑤ 地域との連携体制の構築
- ⑥ 奈良の食と産物の世界的な認知度の向上
- ⑦ 地域の記憶の保存と発信

施設配置コンセプト:

「小さな風景の大きな集合」

奈良はいくつもの場所が繋がることで独自の大きな風景を形成してきました。既存の個々の地割りや庭園、既存建物を残しながら、小さな建築を溶け込ませることで、場所ごとのアイデンティティーを残しつつ統一感のある奈良らしい大きな環境を創り出します。

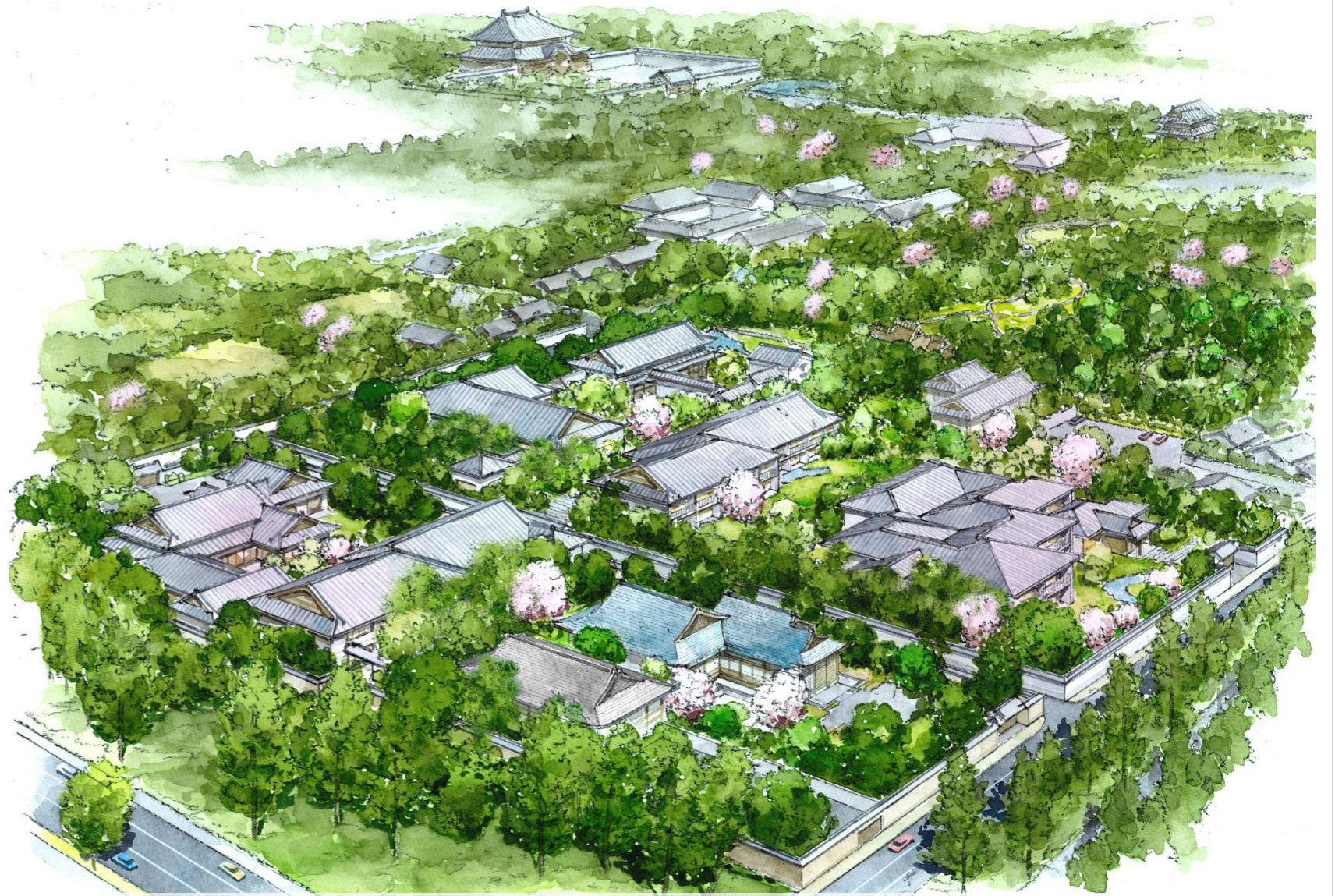


整備後も変わる事のない、緑豊かで大きな奈良公園を望む県庁屋上からの眺め

デザインコンセプト:

「伝統と現代の結び」

奈良はシルクロードの終着点であり、海外の影響を受けた貴重な文化財が数多く創り出されてきました。伝統文化に海外からの新しい文化が結びついたことで、奈良独自の文化が育まれ現代に継承されています。伝統と現代を結び、奈良独自の文化を感じながら過ごせる環境を設えます。



奈良の自然観を現代に再生し、庭園に溶け込む小さな屋根の建築によってこの地に相応しい風景を創出

邸宅の佇まいを継承し、周辺環境と調和した計画により名勝の価値を高めます。



邸宅の佇まいの継承による築地塀・樹林・建築の関係性の保存



宿泊だけでなく文化発信の場としても活用する旧世尊院



既存を活かして邸宅の面影を残し奈良公園の借景と一体となる庭園



新たな門扉の整備による品格高い街並み景観の向上



吉城園主棟を有効活用しお茶会等のイベントを企画



地割りごとの様々な趣向の庭を回遊しながら楽しむことの出来る庭園



綿密な建物配置検討による吉城園からの眺望の保存

既存建物の特性を活かしながら、庭園と一体となった上質な宿泊施設を整備します。



既存建物の佇まいを残し現代デザインと融合した上質なレセプション



内部と庭園が一体となり四季折々の風情を楽しむことが出来る知事公舎の特性を活かしたレストラン



庭園に最大限開かれたバンケットとして様々な利用に対応可能なゲストハウス



吉野杉や伝統技術を取り入れた奈良の伝統・文化を感じられる客室